

筑 波 山



筑波山(男体山871mと女体山877m)

日 時 : 2019年2月26日

メンバー : 福澤 卓三

コースタイム :

大塚(7:11発)ー秋葉原つくばエクスプレス(7:39発)ーつくば(8:34着)ー
つくばセンター(9:00発)ーシャトルバスーつつじが丘(9:50ー10:00発)ー
弁慶七戻(10:45着)ー女体山(11:30着)ー御幸ヶ原(11:55)ー男体山
(12:10ー12:20)ー御幸ヶ原(12:30ー12:55)ーつくば神社入口(14:20 着)
ーシャトルバス(15:10発ー15:50着)ーつくば(16:11発)ー秋葉原(17:00)



つくばセンターバス停留所



つつじが丘登山口(筑波山名物のガマ)

日本百名山の中では標高が一番低く、近場にあるがなかなか趣のある登山道で、昔から西の富士、東の筑波とよばれた。

行きは大塚を7時、帰りは秋葉原に17時と、普通の登山と比べて行動時間が短い、十分にゆとりを持った行動ができた。秋葉原からのつくばエクスプレスが早くて便利である。ケーブルカーを使用しなくても十分楽な行程である。

つくばから、バスで終点までのつて一回りするつつじが丘からのルートがおすすめである。このルートは登山口に筑波山の名物のガマがむかえてくれる。

途中祠やいろいろな大石があって楽しい。パワースポットもある。

最高到達点である女体山には、1ピッチ半でついた。ここには神社があり、ここからの景色が良いのだが、この日は残念であった。ここから少し下るとケーブルカーの終点である筑波山頂駅がある御幸が丘につく。ここから15分ほどで男体山の頂上に出る。ここには男体山ご本殿と筑波山気象観測ステーションがある。

御幸が丘まで戻り、関東ふれあいの道を下山道に選んだがかなり急坂であった。、2月は一番登山客がすくなくてよいと思う。また車より鉄道のほうがこまなくてよいだろう。この時期は梅も有名で自然のなかにあるので写真を撮るのによいらしい。



登山口を振り返って



登山道



大きな石や祠や神社がある



パワースポット稲村神社



女体山の頂上(877m)



晴れていれば遠くまで見られる



御幸ヶ原の向こうが男体山



男体山の頂上(871m)



関東ふれあいの道(かなり急な坂)



途中にケーブルカーが登山道の脇を



実際は急こう配である



筑波山神社